

## 令和4年度特別調査の実施について（案）

### 1. 概要

- 令和6年度診療報酬改定に向けては、答申書附帯意見も踏まえつつ、令和4年度及び5年度特別調査を実施することとして、調査設計等を進めることとされている（令和4年7月27日中医協総会了承）。

（参考）「中医協答申書附帯意見」（抜粋）

DPC/PDPS、短期滞在手術等基本料について、今回改定による影響の調査・検証を行うとともに、医療の質の向上と標準化に向け、診療実態を踏まえた更なる包括払いの在り方について引き続き検討すること。

- 具体的な調査内容等については、DPC/PDPS 等作業グループにおいて検討を行い、以下のとおり取りまとめたことから、本分科会において提案するものである。

### 2. 背景

- 平成30年度診療報酬改定に向けた議論において、平均から大きく外れて診療密度が低い、平均在院日数が長い、等の診療実態がある病院の存在が確認され、そうした病院はDPC/PDPSになじまない可能性があるため、何らかの対応を検討する必要性が指摘された。
- その後、医療資源投入量や在院日数を指標とし、「医療資源投入量が平均から外れた病院」のうち、「医療資源投入量の少ない病院」及び「在院日数の短い病院」に着目して分析を進め、令和4年度診療報酬改定に向けては、特別調査として、外れ値に該当する病院に対してヒアリングを実施し、以下のような実態を聴取した。
  - － DPC対象病棟以外での受入れ目的に転院してきた患者を、一時的にDPC対象病棟に入院させている実態があること
  - － 「リハビリ目的」での入院など、必ずしも急性期の病態とは言えない患者についても、DPC対象病棟に入院していること

### 3. 調査の目的について

- 適切なDPC制度の運用を図る観点から、DPC/PDPSになじまない可能性のある病院も含めたDPC対象病院の診療実態について検討を進めるにあたり、医療機関が担うべき役割や機能に対するインセンティブを評価するものである機能評価係数Ⅱに着目し、特別調査を実施することとする。

#### 4. 調査の実施方法について（案）

- DPC 標準病院群に該当する病院（※1）に対して、調査票を送付し、機能評価係数Ⅱの各項目に対応する取組の状況やその背景等について回答を求める。
  - ※1 令和4年度5月以降に合併した病院は含めない。
  
- さらに、機能評価係数Ⅱの各項目の分布等を踏まえ、下記区分に対応する病院については、対応する係数値等を通知するとともに、当該係数値を取る理由や背景を問う追加的な調査項目を設定する。
  - (A) 保険診療係数について、最大値となっていない67病院（※2）
    - ※2 区分(A)については、大学病院本院群及びDPC 特定病院群に該当する病院も含む。
  - (B) 効率性係数の上位50病院及び下位50病院
  - (C) 複雑性係数の上位65病院及び下位65病院
  - (D) 救急医療係数の上位50病院及び下位50病院
  - (E) 地域医療係数の上位50病院及び下位50病院
  
- 調査票の回答状況や各病院の機能評価係数Ⅱの取得状況を踏まえて、10施設程度ヒアリング対象となる病院を選定し、DPC/PDPS等作業グループに招集する。

#### 【調査項目（主なものの案）】

##### I DPC 標準病院群に該当する全ての病院を対象とした調査項目

- DPC 算定病床の運用状況とその背景について（総論的事項）
  - ・ DPC 算定病床における医師数（常勤換算）について
  - ・ DPC 算定病床の稼働状況について
  - ・ DPC/PDPS への参加のメリットについて
  - ・ DPC 算定病床の今後の運用方針について
- データの質向上に向けた取組及びコーディングに係る体制について（保険診療係数に対応）
- 急性期医療の標準化・効率化に向けた取組について（効率性係数に対応）
- 主な診療疾患や手術処置等の実施状況とその背景について（複雑性係数・カバー率係数に対応）
- 救急医療の実施状況とその背景について（救急医療係数に対応）
- 地域医療において果たしている役割とその背景について（地域医療係数に対応）
- 急性期入院医療の質向上の観点から評価されるに値する病院独自の取組について

##### II 区分(A)～(E)に該当する病院を対象とした調査項目

- （各区分に該当する係数値について）そのような値を取る理由や背景について